（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

１　基本情報

施設名称	大阪市立西淀川スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局　スポーツ部　スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80％以上
指定管理者名	ＨＯＳグループ 【構成員】 ＨＯＳ株式会社 天正株式会社
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

２　管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		88.3%
達成率		110.4%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	94.4%	99.2%	-4.8%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（多目的１）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（多目的２・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

３　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	22,297,000	20,725,000	1,572,000	昨年休館補填分
	計画	20,725,000	20,725,000		
利用料金収入	実績	1,444,510	1,428,320	-976,490	申請計画との乖離
	計画	2,421,000	2,373,000		
自主事業収入	実績	18,567,169	12,433,344	6,880,169	計画以上の参加数増
	計画	11,687,000	11,460,000		
その他収入	実績	0	1,370,656	0	
	計画	0	0		
合計	実績	42,308,679	35,957,320	7,475,679	
	計画	34,833,000	34,558,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	13,181,868	11,285,095	-2,420,232	作業効率化により費用削減・アルバイト配置を社員間でカバーし削減
	計画	15,602,100	15,150,000		
物件費	実績	5,395,065	4,535,155	1,967,065	物価高騰による価格単価増
	計画	3,428,000	2,236,000		
修繕費	実績	187,000	1,386,330	-6,366,000	
	計画	6,553,000	7,724,000		
自主事業支出	実績	10,710,916	8,044,499	3,981,016	事業好調による経費増
	計画	6,729,900	6,628,000		
その他支出	実績	1,380,538	1,429,106	-1,139,462	
	計画	2,520,000	2,820,000		
合計	実績	30,855,387	26,680,185	-3,977,613	
	計画	34,833,000	34,558,000		

４　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	110.4%	A	

（２）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・消耗品や備品購入の際は、相見積で経費削減。 ・水光熱費の使用量コントロール。 ・体育場照明の間引き。（照度は維持） ・未使用更衣室の照明・空調オフ。 ・体育場空調のこまめな温度調整。 ・紙ベース帳票を可能な範囲でPDF管理へ移行。 ・運用見直しで省略可能な帳票等を削減。	B	

（３）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	
	事業計画の実施状況	B	
	施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性		B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

５　利用者ニーズ・満足度等

・建物は古いが中はきれいに維持されているとのお褒めのお言葉は相変わらず頂戴いただく。
・シューズ履き替えをロビー前に戻した結果、体育場への土埃等の流入が軽減されている。
・地域性の高い施設であるため、スタッフの接客力強化を日頃から徹底。
・教室事業案内プリントを自由に選べるよう、館内へ設置。
・教室事業のアンケートを実施し、結果を従業員間で共有し、今後の教室事業への参考にする。
・抽選申込み可能枠を掲示して、申し込み受付待ちの時間を短縮させる。

６　外部専門家意見

利用者満足度は高い水準を維持しているものの、昨年度と比較すると若干下がっている。また、利用率についても約５Ptほど下がっている。貸館空き状況の掲示や空きが出た場合の周知等の取組みは行っているようであるが、利用率や満足度の低下の要因分析を行い、次年度の運営に活かしていただきたい。
収支については、自主事業が好調で計画を上回る収入を計上しつつも、人件費や物価が高騰する中、作業効率化や配置の見直しなどにより支出を計画よりも抑えたうえで収支を黒字化できており、評価できる。次年度も更なる管理費の縮減に取り組んでいただき、健全な施設運営を継続していただきたい。

７　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

１　基本情報

施設名称	大阪市立阿倍野スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局　スポーツ部　スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80％以上
指定管理者名	ＨＯＳグループ 【構成員】 ＨＯＳ株式会社 天正株式会社
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

２　管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		91.5%
達成率		114.4%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.8%	99.0%	0.8%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	96.6%	99.6%	-3.0%

利用状況（多目的１）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.7%	99.6%	0.1%

利用状況（多目的２・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.8%	99.6%	0.2%

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	79.9%	78.6%	1.3%

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

３　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	10,712,000	10,712,000	0	
	計画	10,712,000	10,712,000		
利用料金（使用料）収入	実績	10,752,410	11,020,280	-4,821,590	
	計画	15,574,000	15,267,000		
自主事業収入	実績	31,313,128	23,669,019	8,825,128	計画以上達成
	計画	22,488,000	22,066,000		
その他収入	実績	557,830	435,106	557,830	
	計画	0	0		
合計	実績	53,335,368	45,836,405	4,561,368	
	計画	48,774,000	48,045,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	16,564,500	15,973,427	-2,995,890	作業効率化により費用削減・アルバイト配置を社員間でカバーし削減
	計画	19,560,390	18,993,000		
物件費	実績	14,869,013	8,167,096	4,241,013	価格単価の高騰
	計画	10,628,000	1,645,000		
修繕費	実績	2,613,426	420,200	102,426	老朽化による対応修繕増
	計画	2,511,000	3,761,000		
自主事業支出	実績	18,424,319	14,791,040	9,249,709	事業好調による経費増
	計画	9,174,610	9,246,000		
その他支出	実績	4,986,284	5,127,698	-1,913,716	
	計画	6,900,000	7,200,000		
合計	実績	57,457,542	49,607,159	8,683,542	
	計画	48,774,000	48,045,000		

４　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	114.4%	A	

（２）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・消耗品や備品は、販売額を比較した上で購入。 ・水光熱の使用量コントロール。	B	

（３）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	
	事業計画の実施状況	B	
	施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性		B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

5　利用者ニーズ・満足度等

・施設ホームページについてご指摘・ご意見があった場合は即時修正・更新を実施し、閲覧時に満足いただけるよう努めた。
・外国人利用者さまに向けて英語・中国語の館内案内・注意事項を掲示後、混乱なくスムーズな運営を実施。
・教室事業のアンケートを実施し、結果を従業員間で共有し今後の教室事業への参考とする。
・実施教室別の案内をインフォメーションボードへ分かりやすい表現に加工し掲示。

6　外部専門家意見

利用者満足度は昨年度比で大幅に改善しており、課題に対する迅速な改善対応の姿勢は評価できる。
収支面では、自主事業収入が前年比・計画比ともに大幅増となった点は評価できるものの、利用料金収入が前年・計画を下回った。
支出面においては、施設老朽化に伴う修繕費の大幅な増加や自主事業展開に伴う経費増が重なり、最終的に赤字となっている点は課題である。今後は、利用料金収入の回復に向けた集客強化を図るとともに、中長期的な計画修繕（優先順位の整理等）を進め、修繕費の平準化と収支構造の改善に努められたい。

7　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

１　基本情報

施設名称	大阪市立住吉スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局　スポーツ部　スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80％以上
指定管理者名	ＨＯＳグループ 【構成員】 ＨＯＳ株式会社 天正株式会社
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

２　管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		69.3%
達成率		86.6%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	92.7%	89.9%	2.8%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	94.0%	88.1%	5.9%

利用状況（多目的１）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	77.4%	71.8%	5.6%

利用状況（多目的２・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	25.9%	20.3%	5.6%

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

3　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	55,762,000	52,737,000	3,025,000	
	計画	52,737,000	52,737,000		
利用料金（使用料）収入	実績	14,168,580	13,602,640	-2,551,420	興行利用減
	計画	16,720,000	16,389,000		
自主事業収入	実績	19,747,746	16,739,962	-8,411,254	計画との自主事業枠、価格単価の乖離。 ※前管理者の事業維持のため
	計画	28,159,000	27,708,000		
その他収入	実績	1,587,960	3,474,760	1,587,960	
	計画	0	0		
合計	実績	91,266,286	86,554,362	-6,349,714	
	計画	97,616,000	96,834,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	15,675,013	16,540,841	-3,485,567	作業効率化により費用削減・ アルバイト配置を社員間でカバーし削減
	計画	19,160,580	18,486,000		
物件費	実績	48,503,052	48,110,411	6,635,052	
	計画	41,868,000	41,606,000		
修繕費	実績	9,327,450	3,602,457	1,666,450	防煙垂れ壁による高額修繕（立替金）
	計画	7,661,000	7,510,000		
自主事業支出	実績	5,559,330	5,539,750	-8,067,090	事業枠数が計画どおり確保できなく経費としても減額
	計画	13,626,420	13,632,000		
その他支出	実績	12,696,405	14,542,552	-2,603,595	
	計画	15,300,000	15,600,000		
合計	実績	91,761,250	88,336,011	-5,854,750	
	計画	97,616,000	96,834,000		

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

4　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	86.6%	C	

（２）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
1.水光熱費 ・状況を見ながら不要エリア都度消灯。 ・強制シャワーの水量調整。 ・各シャワーブースの水量調節。 ・翌日の天候（気温）を確認し、空調のON/OFF時間帯を指示。 ・外気温と室温を確認し空調電源ON・OFFを実施。 ・体育館定期清掃時、カーテン開閉実施。 ・施設管理担当との定期打合せにて無駄な箇所が無いか確認。 ・節電に対する職員意識醸成活動の実施。 ・全エリアに節水バルブを設置し、適切な水量を維持しているか定期点検を実施している。 2.消耗品費 ・消耗品や備品は、販売額を比較した上で購入し都度相見積済で購入。 3.人件費 ・研修時は複数名で行い、実施回数を減らす。 ・動画研修も活用し、研修担当の時間を減らす。 ・トレーニング室は時間帯に応じて配置人数を変更し、人員過剰にならないように対応。 ・事務業務の効率化、セクション配置とシフト作成の工夫による無駄な人員削減。 ・AI活用により業務効率化を図る。	B	

（３）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	
	事業計画の実施状況	B	
	施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性		B	

5　利用者ニーズ・満足度等

・窓口応対マニュアルを作成し、接客応対における基本3原則を実施しスタッフ教育を向上させている。
・自主事業教室の案内を各教室ごとに作成・掲示した。人目に触れる形で施設内で開催内容が分かるように実施。
・自主事業申込みシステムを開設し、窓口対応の時間短縮に務めた。またWeb決済システムも導入した。
・優先利用の打ち合わせでは、利用団体様の要望を極力取り入れるスタンスを取りいれ、ご満悦の声をいただける。
・利用日前日にプログラム等の大会備品の預かり、施設南西部の扉の開放許可を行い、荷物の搬出入が行いやすくなったと喜びの声をいただいた。
・初めて利用される団体様には、同じ種目や規模の場合に「このように利用されていました」「ここに受付スペースを設けた方が良い」といった提案を施設側から提案し、ご満足いただける。
・施設入口に開館・利用時間のサイン、当日施設予約されている種目・時間帯・場所を一覧で分かるように文字を大きく掲示。
・多国籍利用の方も増員しているので、多国籍語の掲示案内も作成した。

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

６　外部専門家意見

利用状況について、全室において稼働率が前年度比増となっており、施設全体の利用促進および稼働率向上への成果については高く評価したい。一方で、利用者満足度は69.3%と前年度（82.9%）から大幅に低下し、目標にも届いていない。利満足度低下に繋がった要因の把握に努め、接遇や施設環境等、要因の検証と改善に向けた対応が望まれる。
収支については、収入が計画を下回っているが、支出も計画を下回ったものの経費削減により赤字幅の圧縮に努めていることが伺える。しかしながら、赤字となっている点についてはしっかりと分析を行い、施設の効率的な運用と業務の効率化といった工夫で収益を改善していただきたい。
満足度と収益性との間に因果関係があるのか、第三の理由があるのかを客観的に見極めてほしい。

７　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	C	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

１　基本情報

施設名称	大阪市立住吉屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局　スポーツ部　スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80％以上
指定管理者名	ＨＯＳグループ 【構成員】 ＨＯＳ株式会社 天正株式会社
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

２　管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		59.4%
達成率		74.3%

２　管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		81.6%
達成率		102.0%

２　管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		
年度実績		
達成率		

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	79,714	79,932	-218
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	41,837	40,402	1,435
稼働率			

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

3　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	101,728,000	101,758,000	0	
	計画	101,728,000	101,758,000		
利用料金（使用料）収入	実績	31,077,020	29,308,690	-3,969,980	計画見込との乖離
	計画	35,047,000	34,359,000		
自主事業収入	実績	26,402,974	25,310,213	-4,327,026	計画との自主事業枠、価格単価の乖離。 ※前管理者の事業維持のため
	計画	30,730,000	30,147,000		
その他収入	実績	0	1,507,000	0	
	計画	0	0		
合計	実績	159,207,994	157,883,903	-8,297,006	
	計画	167,505,000	166,264,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	40,840,205	41,732,380	-10,318,875	作業効率化により費用削減・アルバイト配置を社員間でカバーし削減
	計画	51,159,080	49,436,000		
物件費	実績	83,679,066	95,158,299	8,247,066	光熱水費、物品費、委託管理費の原価高等による影響
	計画	75,432,000	77,040,000		
修繕費	実績	2,646,567	3,204,797	-4,168,433	
	計画	6,815,000	6,681,000		
自主事業支出	実績	5,157,286	4,983,641	-8,841,634	事業枠数が計画どおり確保できなく経費としても減額
	計画	13,998,920	12,707,000		
その他支出	実績	16,569,287	4,983,641	-3,530,713	事業参加数未達のため経費としても減額
	計画	20,100,000	20,400,000		
合計	実績	148,892,411	150,062,758	-18,612,589	
	計画	167,505,000	166,264,000		

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

4　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（プール）	74.3%	C	
利用者満足度（トレーニング室）	102.0%	B	

（２）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
1.水光熱費 ・状況を見ながら不要エリア都度消灯。 ・強制シャワーの水量調整。 ・各シャワーブースの水量調節。 ・翌日の天候（気温）を確認し、空調のON/OFF時間帯を指示。 ・外気温と室温を確認し空調電源ON・OFFを実施。 ・体育館定期清掃時、カーテン開閉実施。 ・施設管理担当との定期打合せにて無駄な箇所が無いか確認。 ・節電に対する職員意識醸成活動の実施。 ・全エリアに節水バルブを設置し、適切な水量を維持しているか定期点検を実施している。 2.消耗品費 ・消耗品や備品は、販売額を比較した上で購入し都度相見積済で購入。 3.人件費 ・研修時は複数名で行い、実施回数を減らす。 ・動画研修も活用し、研修担当の時間を減らす。 ・トレーニング室は時間帯に応じて配置人数を変更し、人員過剰にならないように対応。 ・事務業務の効率化、セクション配置とシフト作成の工夫による無駄な人員削減。 ・AI活用による業務効率化を図る。	B	

（３）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	
	事業計画の実施状況	B	
	施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性		B	

5　利用者ニーズ・満足度等

・窓口応対マニュアルを作成し、接客応対における基本3原則を実施しスタッフ教育を向上させている。
・自主事業教室の案内を各教室ごとに作成・掲示した。人目に触れる形で施設内で開催内容が分かるように実施。
・自主事業申込みシステムを開設し、窓口対応の時間短縮に務めた。またWeb決済システムも導入した。
・施設入口に開館・利用時間のサイン、当日施設予約されている種目・時間帯・場所を一覧で分かるように文字を大きく掲示。
・トレーニングの基本的な方法手順をエリアに配置し、よろこびの声をいただいた。
・多国籍利用の方も増員しているので、多国籍語の掲示案内も作成した。

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

６　外部専門家意見

屋内プールについて、利用者満足度が前年度においても非常に低水準（65%）であったところ、今年度は59%までさらに低下しており、改善が見られない。前年度評価において満足度低下の要因分析と対策実施を指摘したにもかかわらず、結果として数値が悪化していることから、改善策の立案・実行・検証（PDCA）が不十分であると言わざるを得ない。次年度は、利用者満足度および利用者数の改善に直結する重点項目を明確化したうえで、改善計画を策定し、民間事業者としてのノウハウを活かした運営方法の見直しを実施されたい。
収支については、収支差額が黒字となっていることから、一定の評価はできる。一方で、自主事業については、収入・支出ともに計画を下回っており、支出抑制に見えるものの、実態としては自主事業が計画どおり実施できていないことに起因すると考えられる。結果として事業規模が縮小し、利用者サービスの拡充や収入確保につながる機会を十分に活かし切れていない点が課題である。次年度は、事業を整理・重点化するとともに、計画の実現性を高めたうえで安定的な事業運営を図られたい。

７　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	C	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	